

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和5年9月29日)

事業コード	R5-建-継-10	区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 草生津川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	秋田市外旭川	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S56~R18(56年)	総事業費	157.9億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=5,000m、計画高水流量Q=85m ³ (1/10)					
事業の立案 に至る背景	草生津川は、市街地を貫流する河積が狭小な河川であることから、2年に1度の頻度で家屋浸水や道路冠水等の浸水被害が発生し、地元住民に多大な被害を与えている。このため、引き続き事業の促進を図っていくものである。					
事業目的	地域住民の生命と財産を守るため、河積確保や湾曲河道是正等の河川改修を実施して浸水被害の解消を図り、安全で安心できる地域づくりを推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	15,783,500	15,783,500	0		
	経費内訳	工事費	5,153,500	5,153,500	0	
		用補費	9,850,000	9,850,000	0	
		その他	780,000	780,000	0	
	財源内訳	国庫補助	7,891,750	7,891,750	0	
		県債	7,102,200	7,102,200	0	
その他		0	0	0		
一般財源	789,750	789,750	0			
事業内容	河道掘削工 護岸工 橋梁工	河道掘削工 護岸工 橋梁工				
事業の進捗 状況	全体計画 157.8億円 令和4年度末投資額 127.4億円 進捗率 80.7%					
事業推進上 の課題	家屋連坦地域であり、工事による騒音振動等、沿川住民の生活環境への配慮が必要である。					
関連する計 画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	下流より順次事業を進めているが、家屋連坦地域であることから、支障建物の移転交渉や埋設支障物件の交渉等に期間を要している。					
事業効果把 握の手法及 び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川改修済み延長 / 要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	46.6%(R4末目標)	データ等の出典	河川砂防課		
	実績値 b	46.7%(R4末実績)	把握の時期	令和5年3月		
達成率 b/a	100.2%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	住宅が密集する地域であり浸水想定範囲が広いことから、浸水が想定される家屋数が653戸と多く、外旭川病院や県道秋田北インター線などの公共施設も浸水の恐れがある。およそ2年に1度の頻度で家屋浸水が生じていることから、周辺住民より早期の完成が望まれている。	28点
緊 急 性	現況河川の流下能力が著しく低く、河幅も狭小であるため、出水の度に増水氾濫が頻発している。また、当該区域は重要水防区域に位置付けられていることから、緊急性は高い。	13点
有 効 性	河道拡幅等により治水効果の発現が見込まれることから、有効性が高い。また、部分的に断面を拡幅して緩傾斜化するなど、親水性を高めている。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は5.08であり、効率性は高い。また、現川改修であることから経済的に有利であるほか、排水樋管や橋梁の統廃合、建設廃材の仮設材等への有効利用などにより、コスト縮減に努めている。	13点
熟 度	河川改修に対する地元の意向が強く、早期に改修を進める必要がある。また、低騒音・低振動・排ガス対策型の建設機械の利用や、植生の回復が見込まれる護岸ブロックの使用等により、現況河川環境の維持に努めている。	25点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	94点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R5-建-継-10)
箇所名 (一級河川 草生津川 秋田市外旭川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	想定氾濫区域内の状況				
	浸水戸数	50戸以上	10	10	653戸
		10戸以上49戸以下	7		
		9戸以下	3		
	浸水面積	60ha以上	10	10	69ha
		10ha以上60ha未満	7		
		10ha未満	3		
	重要な公共施設	3施設以上	5	3	外旭川病院 外旭川アンパス
		1施設以上	3		
		なし	0		
	整備計画の策定				
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	H27.6	
	協議中であるが特段問題ない	3			
	策定に着手していないが予定がある	1			
	予定なし	0			
計			30	28	
緊急性	災害発生の危険度				
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	14% (現況12/計画85=0.14)
		40%以上60%未満	7		
		60%以上	5		
	秋田県水防計画				
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R5水防計画書より区分B	
	評定基準区分B	3			
計			15	13	
有効性	河川整備の有効性				
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	緑化に配慮した護岸 高水敷整備
		親水性は現状と変わらない	0		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	都市計画区域
地域開発の計画がある		1			
予定なし		0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	5.08
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	該当項目数	3項目以上	5	3	河道計画の見直し 河川管理施設等の統廃合
		2項目	3		
		1項目	1		
		なし	0		
前回計画との比較					
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5		
	10%以上30%未満の増加	3			
	30%以上の増加	0			
計			15	13	
熟度	地元の状況				
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書R4.8月 秋田市
		参画している	3		
		参画していない	0		
	事業の進捗状況				
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	10	(R4)127.4/(計画)157.8 =80.7%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
1割未満		2			
環境との調和への配慮状況					
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	工事影響範囲が最小になる計画 排出ガス対策型車両や機械の採用 法面等の緑化の実施 等	
	1事項以上	3			
	環境配慮事項がない	0			
計			25	25	
合計			100	94	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		